

平成 28 年 8 月 2 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 デ イ ト ナ
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 織 田 哲 司
 (証 券 コード 7228、東 証 JASDAQ)
 問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 杉 村 靖 彦
 (TEL 0538-84-2200)

第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 予 想 と 実 績 の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

平成 28 年 2 月 12 日 付 当 社 「 平 成 27 年 12 月 期 決 算 短 信 [日 本 基 準] (連 結) 」 に お い て 公 表 し ま し た 平 成 28 年 12 月 期 (平 成 28 年 1 月 1 日 ~ 平 成 28 年 12 月 31 日) の 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 予 想 と 実 績 の 差 異 に つ い て 下 記 の と お り お 知 ら せ し ま す 。

記

(連 結)

平成 28 年 12 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結 業 績 予 想 数 値 と 実 績 と の 差 異 (平 成 28 年 1 月 1 日 ~ 平 成 28 年 6 月 30 日)

(単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	2,960	44	43	20	円 銭 9.87
今 回 実 績 (B)	2,953	146	123	73	34.95
増 減 額 (B - A)	▲ 7	101	79	52	
増 減 率	▲ 0.3%	226.9%	183.2%	254.0%	
(参 考) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 (平 成 27 年 12 月 期 第 2 四 半 期)	2,784	139	139	83	39.83

(個 別)

平成 28 年 12 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 個 別 業 績 予 想 数 値 と 実 績 と の 差 異 (平 成 28 年 1 月 1 日 ~ 平 成 28 年 6 月 30 日)

(単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	2,139	93	63	円 銭 30.02
今 回 実 績 (B)	2,074	136	95	45.53
増 減 額 (B - A)	▲ 64	42	32	
増 減 率	▲ 3.0%	45.7%	51.7%	

(差異の理由)

第2四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同四半期比6.1%増となる29億53百万円(予想比0.3%減)となり、ほぼ予想どおりの推移となりました。セグメント別売上高は、国内卸売事業は前年同四半期比で4.6%増となりましたが、予想値に対しては3.0%減でした。海外拠点卸売事業は、出荷開始が遅れていた補修、消耗品の出荷が始まり、前年同四半期比では2.1%増となりましたが、出荷開始の遅れが響き予想値を下回りました。卸売事業では品揃えや接客品質の向上、販売促進の実施により、前年同四半期比9.8%増となりました。

連結営業利益については、国内卸売事業において、予定していた修繕や設備導入、支払手数料などの費用が第3四半期以降にずれ込んだこと、円高による輸入仕入費用の減少などにより1億46百万円(予想比226.9%増)となりました。

連結経常利益については、国内卸売事業において、円高の進行による外貨建て資産の為替差損が多く出たことなどにより1億23百万円(予想比183.2%)となりました。

親会社に帰属する四半期純利益は73百万円(予想比254.0%増)となりました。

なお、通期業績については、第3四半期以降にずれ込んだ費用の発生等を見込んでおりますので、現時点での修正はございませんが、第3四半期以降の状況を勘案しながら、必要に応じて業績予想修正を検討してまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき将来予測を判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上